

創立 92 年 広島国際学院 報

建学の精神
教育は愛なり

第 110 号

令和元年 11 月号



「私の学校」 写真部 藤原一晟(情報デザイン学科 2 年)

目次	
お知らせ	1
工学部	2
総合教育センター	2
情報文化学部	3
短期大学部	4
中学校・高校から発信	5・6
故 西本五郎理事長お別れの会	7
紀隆雄先生(第 6 代学長)ご逝去	7
第 52 回高城祭「破天荒」を開催	7

工学部
情報文化学部
総合教育センター
短期大学部
中学校・高校から発信

広島国際学院

👉 検索

大学・大学院の学生募集停止について



この度、5月末の理事会において、大学および大学院の各学部・各研究科の令和2年度以降の学生募集を停止することを決定いたしました。報道でもご存知の通り、押し寄せる少子化という社会状況の変化と在籍する学生への教育活動を鑑み、募集停止の決定に至らざるを得ないこととなりました。今後は、今年度入学生を含めたすべての在学生に対し、卒業に至るまで、現在の教育環境を維持・継続し、進路確保や就職支援などについても最善を尽くしてまいります。また、大学廃止後も各種証明書の発行などについては、学校法人において組織的に対応してまいります所存でございます。

これまで大学・大学院の教育または研究活動に多大なるご理解とご支援いただいた関係者の皆様には心から感謝申し上げますとともに、このたびの決定に何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

理事長 田中 満彦

短大は専門学校に生まれ変わります

自動車短期大学部は、専修学校専門課程（専門学校）へ学校種別の移行を目指しております。この8月には広島県に認可申請書の受理をされたことを受け、広島国際学院専門学校（認可申請中）として募集活動を開始しました。

これまでの短期大学部55年の伝統を受け継ぎ、高い教育の質を維持して、次年度からも引き続き自動車整備士の養成を行う学校として、充実した実習設備や豊富な教材と、実習カリキュラムを通じ、即戦力となる人材育成を推進していきます。

自動車整備士は社会からも必要とされている高度な専門職です。まわりに興味のある方がおられましたら、ぜひ本校を紹介していただければ幸いです。

学校説明会を右記の日程により開催しております。なお、学校説明会などの日程はHPにも掲載しております。ぜひ、ご参加ください。

見て・聞いて・触れて
もっとクルマに「アツくなる」。

令和2年4月開校予定
学校説明会
2019

SCHEDULE 学校説明会 日程

11/16 (土)	12/7 (土)	2020.2/15 (土)	2020.3/25 (水)
学校説明会、入試説明会 自動車整備業界の説明等	学校説明会、入試説明会 自動車整備業界の説明等	学校説明会、入試説明会 自動車整備業界の説明等	学校説明会 自動車整備業界の説明等
時間: 13:00~15:00 場所: 中野キャンパス	時間: 13:00~15:00 場所: 中野キャンパス	時間: 13:00~15:00 場所: 中野キャンパス	時間: 13:00~15:00 場所: 中野キャンパス

● 中野キャンパスは広島国際学院大学 中野キャンパスと同じ場所となります。(JR中野駅より徒歩7分)
● 上記開催時間は若干前後します。

お問い合わせ:
(院設事務室) 〒739-0302 広島市安芸区上瀬野町5-17-1
TEL.082-820-3513 FAX.082-820-3510

工学部

工学部教員が「山水功労賞」を受賞

西条の酒造用地下水やその源流とされる龍王山の湧水の水質調査を続けている工学部の竹野研究室が、「西条・山と水の環境機構」より「山水功労賞」を受賞しました。

「西条・山と水の環境機構」とは、西条酒造協会関係者と行政、市民、大学関係者で構成される環境保護団体で、西条酒造協会が提供する基金を運用して西条の酒造用水と里山の保全活動を支援し、これらに関連する学習・学術研究・森林整備・交流拠点などの活動を行っている団体です。

受賞会場では、多くの西条酒造協会関係者、行政、大学、報道関係者がいる中、竹野教授はこれまでの西条の水質調査の研究活動発表を行い、本大学の社会貢献活動が認められ立派な盾を授与されました。また、この功労賞の受賞は、5月21日の中国新聞朝刊にも掲載されました。



竹野健次教授による報告の様子

PICK UP!

企業見学ツアーに行きました

生産工学科の1年生が7月6日に因島にある造船会社「ジャパンマリンユナイテッド株式会社」「株式会社アイメックス」と健康食品などを製造している「万田発酵株式会社」を見学しました。

造船所の見学では、製造中の船や修理中の船に加え、それらに載せるエンジン工場なども見学しました。

万田発酵株式会社では、とても難しい発酵の管理を大規模に行える技術力の高さが良く分かりました。

朝早くから夕方まで一日がかりのツアーでしたが、勉強の時間と楽しい時間の両方を過ごすことができ、内容の濃いツアーになりました。学生の皆さんは今後のコース決定や進路の良い判断材料になったと思われます。



万田発酵株式会社にて

総合教育センター

eラーニング「HKG基本ドリル」で成果

本年度、入学前教育・初年次教育にeラーニング「HKG基本ドリル」を導入しました。5教科の基礎を確認できるドリル教材です。それまでの入学前教育は通信添削方式で、入学者の一部（昨年度は65.9%）を対象とし、最大4回の利用機会でした。しかし、今回は入学者全員が対象となり、利用回数（ログイン回数）は平均14.2回でした。125回もログインした人や、総学習時間27時間以上の人もありました。

また、入学後も初年次教育科目「初年次セミナー」等で利用しています。前期までの「LEVEL-1」にくわえ、後期からは「LEVEL-2」も設け、大学HPに専用バナーが2つ並びました。いつでもどこからでもアクセスできるので、今後の活用もますます期待できます。



HKG基本ドリル2バナー

教員免許状更新講習

教員免許状更新講習制度の開始以来11年目を迎え、8月7～9日、選択領域講習として「学校教育における情報化への対応」に33名、「科学技術に関わる教材研究」に11名の先生方をお迎えしました。情報コースでは最新の情報、今後の教育活動に生かす内容の講義・演習・実習等、科学技術コースでは、科学・技術・工業に関わる教材研究を目的に、「ものづくり」の基礎となる講義・演習・実習等を行いました。受講者から、新たな専門知識や体験、基礎的な知識・技能等の習得できたこと、先生の分かりやすく丁寧な指導、TAやSA、スタッフの親切等に対する感謝のコメントをいただきました。来年も免許更新講習継続を願う声もあり、社会貢献を担う本大学の教育・研究力への信頼・期待と重みを感じました。



平和への祈りをかたちに ～ピースキャンドル2019 スタッフTシャツをデザイン～

8月6日の夜、原爆ドームの周囲を子どもたちが作成したキャンドルで灯す活動が続けるNPO法人ひろしま点灯虫の会からご依頼をいただき、情報デザイン学科の山西弘華さん（岡川ゼミ4年、広島国際学院高校出身）がスタッフTシャツをデザインしました。

同NPOからの依頼は2年連続になります。今年は、「伝える」というテーマと年々増加する外国人訪問客への訴求との両立を目指し、シンプルに原爆ドームをモチーフとしてデザインを制作しました。

8月6日は広島にとって特別な日です。平和記念公園を訪れる多くの方々の中でボランティアスタッフの皆さんがこのTシャツを着て活動されていました。情報デザイン学科は、デザインを通じて広島に貢献する取り組みを行っています。



鈴木俊哉理事長と山西弘華さん

学生デザイン「上下野草そと」販売中

情報デザイン学科4年の松原沙季さん（基町高校出身）が、府中市上下町商工会との連携でパッケージデザインをした「上下野草そと」が、10月7日より上下町内の商店などで販売が開始されました。「上下野草そと」は、自然豊かな上下町で自生するスギナやオオバコなどに、美味しいお塩を合わせた無添加の調味料です。

4年の松原さん、栗本壮さん（広島桜が丘高校出身）、西岡舞さん（広島国際学院高校出身）が、それぞれ実際に商品を試食し、商品名やデザインを提案しました。

10月13日に開催された高城祭では、販売と別デザインの展示（栗本さん、西岡さん）が行われました。そこで、味やパッケージについてのアンケートを実施しました。これらの成果は卒業研究として発表をする予定です。



「上下野草そと」デザイン案

本通り商店街でフィールドワークを体験

5月25日、現代社会学科のフィールドワーク入門で、1回目のフィールドワークが実施されました。この日は「本通り商店街の変化」がテーマで、1年生8人が参加しました。

午前中、フィールドワークやその心得、調査の手法について学習し、午後は本通り商店街に出かけ、2003年の住宅地図を片手に変化のあった店舗を調べました。

調査後は、グループごとに16年前の商店街と現在の商店街の様子がどのように変化しているのか議論しました。フィールドワークの流れを一通り体験した一日でした。これを機に、フィールドワークの楽しさを感じ取ってもらえれば大変うれしいです。



本通り商店街でのフィールドワーク

PICK UP!

ソフトボール部
初の全国出場

ソフトボール部は5月18～19日に開催された中国地区予選会で準優勝し、2009年4月にソフトボール愛好会として設立されてから初の西日本大会・全国大会への出場を果たすことができました。賀見優太主将の選手宣誓から始まった8月の西日本大会では、1回戦で大阪体育大学に勝利（2回戦で京都大学に惜敗）、9月の全国大会では1回戦で龍谷大学に延長の熱戦の末に勝利しました（2回戦で城西大学に惜敗）。全国大会での健闘の様子は、全日本大学ソフトボール連盟のインスタグラムでも多くの動画や写真により見ることができますので、是非ご覧ください。

今回の両大会の遠征にあたっては、交通費や宿泊費などが多額のものとなり、多くの教職員の方から寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。広島市のリーグ戦など、今年度の戦いはまだまだ続きます。また、来年も再び全国大会の切符を手にするよう努力を続けます。ご声援のほどよろしくお願いいたします。



短期大学部



整備のプロを目指して（1年生工場見学）

9月13日、1年生55名と教職員4名が就職支援授業の一環として、三菱ふそうトラック・バス（株）広島支店の工場見学を行いました。

13:00から開会行事が行われ、その後、A組・B組の2班に分かれ、講義と整備工場見学を行いました。講義では、会社概要・業務内容・給与・福利厚生等について詳しい説明を受けました。休日は121日で業界では

最多とのことでした。

また、工場見学では中型車・大型車の整備工場の見学、そして船舶用のエンジン、自衛隊車両のエンジンの整備も見学することができました。大型トラックの運転席に座り、各装置の説明を受け、エンジンの指導等体験することができました。最後に記念撮影の後、解散しました。

自動車整備士を目指す1年生にとって、普段の講義や実習と、実際の現場との関連性がより明確になった見学でした。



水無月祭・学生交流会を開催

6月1日、学友会主催の水無月祭（フットサル大会）と学生生活指導委員主催の学生交流会を開催しました。

当日は気温も高くなく、体を動かすのに適した天気の中に行いました。

大会が始まると、学生たちは体育館のコート内を走りまわり軽快なフットワークでフットサルを楽しんでいました。大会は無事に終わり、賞品を受け取り、皆嬉しそうでした。

終了後は、恒例のバーベキューを楽しみました。運動した後の食事はとても美味しく、肉や野菜などをおなか一杯食べることができました。大会に参加した学生は、久しぶりに体を動かすことができ良かったとの声を聴きました。水無月祭、学生交流会を通じて教員や学生間のコミュニケーションを充実させる事ができた楽しい一日でした。



PICK UP!

全国自動車短期大学協会研究発表会 —政講師、研究成果を発表—



発表する政講師

の年齢の幅を増やすとより精度の高い研究になるという助言がありました。

今回、当番校として事前の準備を教職員一丸となって進め、研究発表会を無事に終了できました。

8月7～8日、本学が当番校となって、第51回全国自動車短大協会の研究発表会が開催されました。全国、7つの自動車短期大学の関係者が集まり、1日目は上瀬野キャンパスの実習場設備の見学会が行われました。2日目が研究発表会で、広島ガーデンパレスを会場に8件の発表があり、本学からは政光講師が「シフトレバーに連動した誤発進抑制装置の試作」という題で研究してきた成果の発表を行いました。近年、市場には電気自動車の割合が増えています、操作系や運転時の感覚が従来のガソリンエンジン車と異なるため、誤操作による事故が多発しているという報告があります。そのような事故を減らすための試みで、会場からは被験者の年齢の幅を増やすとより精度の高い研究になるという助言がありました。



中学校・高校から発信



芸術鑑賞会 高校 普通科2年 大谷 紗貴子 (祇園東中学校出身)

私たちは6月に芸術鑑賞をしました。劇団自由人会さんの「夢をかなえるゾウ～青春ロボット編～」を見て、一番心に残ったのは、ガネーシャが「どんな時でも運が良いと言え」というシーンです。私は辛いことがあった時、自分の非がどこにあったのかを探し、ずっと悩んでしまいます。ですが、ガネーシャの考え方を知り、自分に起きた出来事を、全てポジティブに捉えることで、人生がより豊かになると思いました。高校で過ごす三年間は、その後の人生に大きく影響します。だからこそ、この劇を鑑賞して、本気でやりたいことを模索しながら生きる主人

公の卓二の姿と、今の自分を重ねることができ、自分を見つめ直すことができました。私もこの高校生活の中で一生懸命になれることを見つけていきたいです。

高校 普通科2年 金沢 汐優香 (西条中学校出身)

2年になって特進に編入した私にとって、今回の体育祭は印象深いものとなった。クラスの全員が初対面な状況の中、私は特進の団結力に驚かされた。縄跳びでは予行演習の際、私のクラスは12回と悲惨だったので、焦りを感じた。その後、少しずつ連続で飛べる回数が増えた。そして、本番。2分間という限られた時間の中で全員が全力で挑んだ。結果は82回、暫定1位。その瞬間、クラス全員が成長速度に対する感動と喜びを感じたようだ。このとき私は、クラスの団結力を感じ、とても嬉しかった。最終的には、1組が2位と悔しい結果に終わったが、確かにその時、喜びを感じた。2年生に

なって数か月。卒業までこのメンバーで過ごせることを嬉しく思っている。来年の縄跳びは、今年の3年生の最高記録を超えたいと、強く思う。



中学校1年 田中 暁志朗 (荘山田小学校出身)

ダンスは採点されない。僕がどんなにがんばろうが、どんなになまけようが、勝敗は関係ない。しかし、僕はがんばろうと思った。本番の時、僕は今まで練習で先生が言っていた「笑顔で大きく行動」というのに注意した。80点は0点と同じだ。100点でなければならない。僕は今まで練習してきたことを精一杯出し切った。ダンスが終わった。するとどうだろう。

会場中の観客の拍手が響いた。成功だ。今まで練習していたことは決して無駄では無かった。練習をしなければこんなに大きな拍手は無かっただろう。今回の体育祭で僕はがんばることの大切さを学んだ。

集団合宿 高校 総合学科1年 畑中 絵帆 (城南中学校出身)

5月17日から3日間集団合宿がありました。一番印象に残っているのはカッター研修です。まず、カッター研修所に着くと指導員の方が大きな声で何かを注意していました。しかし、決して怒っているわけではなく、「海はいつも危険と隣り合わせ」だからこそ、私たちに厳しく指導して下さったのだとわかりました。そして、最初から最後まで指導者の方が乗り方などを教えて下さったおかげで、ケガもせずに帰って来ることができました。最初は本当に怖いと思っていましたが、指導員の方々が最後に笑顔で「よく頑張った」と言って下さったので、とても嬉しかったです。腕が痛くてしんどかったですが、貴重な体験ができました。



2019年度オープンスクール



9月15～16日、「2019年度オープンスクール」を開催しました。今回も2,500名ほどの中学生・保護者の皆様をお迎えし、高校の魅力伝えていきました。今回の注目点は、特進コースの最上位として「難関コース」を編成したこと、総合学科を普通科に移行し、「総合進学コース」を開設したこと。県内の中学生人口が減少する中、質が高く、多様な教育活動を行うため、9つの学びを軸とした進化を遂げていきます。当日は教育内容の説明に加え、模擬授業やクラブ活動の見学を行い、本校の学校生活を直に見てもらいました。

生徒が主体となって、発表から誘導まで全て手作りでおもてなした2019年度オープンスクール。中学生の皆さんには4月から是非、本校の制服に袖を通し、KOKUSAIの仲間として、ともに頑張ってもらいたいと思います。

2019 アイルランド・ダブリン海外研修

アイルランド・ダブリンでのホームステイプログラムを実施しました。今回初めてヨーロッパの生徒たちと一緒に英語レッスン、アクティビティ、夜の活動をしました。ホームステイ先でもヨーロッパの生徒と滞在した生徒もおり、最初は言葉や文化の違いに苦労しましたが、最後は涙のお別れとなりました。

「アイルランドの思い出」 高校 普通科 2年 西原 瑤子（磯松中学校出身）

私は、この夏アイルランドに2週間短期留学をしました。ホストファミリーに会うまでは不安でとても緊張しましたが、ホストファミリーは私をとっても歓迎してくれて不安がなくなりました。学校では、たくさんの留学生がいました。

どの国の人もみんな英語が上手で、私ももっと見習おうと思いました。午前の授業やアクティビティを通して他の国の人たちと仲良くなることができて、とても楽しかったです。慣れない環境での生活は大変なこともありました。それ以上に楽しいこともたくさんありました。もっと英語の勉強を頑張り、またホストファミリーに会いに行きたいです。



ダブリン EC校 shamrocks クラスのみんなと（下から2段目、左が西原さん）

百錬練磨（総合学習）

「宮島フィールドワーク」 中学校 1年 伊野 結華（南観音小学校出身）

宮島フィールドワークでは、水族館でのバックツアーとフィールドワークを体験しました。バックツアーでは、水族館の裏側をまわり、飼育員さんのお話を聞きました。飼育員さんのお話では、魚や動物たちの飼育をするだけでなく、イベントの準備なども飼育員さんでしているらしく、とても大変な仕事だと思いました。フィールドワークでは、班で協力して宮島の歴史や文化について調べ、ロイロノートに調べたものをまとめ、発表しました。私は、豊国神社について調べ、豊国神社の歴史などを学びました。班で協力して、一つの課題に取り組むのは楽しかったです。宮島フィールドワークを通して、仲間と協力する大切さを学びました。



「座禅」 中学校 1年 佐藤 千紘（海田小学校出身）

私は、百錬練磨の授業をして初めて座禅を体験しました。はじめは、座禅に対して、良い姿勢をして座っているだけというイメージを持っていました。しかし、実際に体験してみると体の堅い私には足を組むところから難しかったです。20分間座禅をすると足がとても痛くなりました。また、20分間がいつもより長く感じられました。次は、10月に「道信寺」というお寺に行って座禅をします。その時



には、前回より集中し、心を落ち着けることができるようになりたいと思いました。

「どろんこ運動会」 中学校 1年 村上 真子（宇品小学校出身）

私は、どろんこ運動会でたくさんの友達を作りました。どろんこ運動会は入学して間もなくの5月8日に行われました。最初、まだ全然知らない人たちと楽しめるかなと心配でした。でも、色々な競技で戦い、チームで助け合うことで仲良くなれたと思います。「どろがついてるよ。」など、ちょっとした声掛けで一気に友達と距離が縮まりました。どろんこ運動会によって友達をたくさん作ることができました。来年の1年生にもぜひ体験してほしいです。



第1回「広島国際学院中学校オープンスクール」

6月30日、中学校は「第1回広島国際学院中学校オープンスクール」を開催しました。今年度は開校初年度であり、また中学校1年生の生徒たちの学校生活を直接確かめたい要望もあったことから、予定数を越える400人超の参加者で会場がいっぱいとなりました。実際に中学生が使用している中学校棟を最初に見学し、全体説明会の会場であるホールに案内させていただきました。どの授業も、ただ学び、受け身で理解するのではなく、自分で考え、行動し、他者と学びを共有する体験活動を経験してもらいました。学ぶ意義は、「自ら楽しみ、感動をおぼえること」にその醍醐味があると本校教職員は考えております。今回参加された皆さんが、少しでも本校の特色ある学びに興味を持っていただければ幸いです。



故 西本 五郎元理事長 お別れの会

5月7日、本学院の西本五郎元理事長が享年100歳で逝去しました。これを受け、7月15日に「お別れの会」をホテルグランヴィア広島で執り行いました。学内外から約400人が参列し、故人の冥福を祈りました。

まず、田中満彦理事長が弔辞を述べ「西本先生は戦後の本学院の再興に尽力され、学院の長として重責を全うされました。先生が残された本学院をさらに発展させていくことをお誓い申し上げます」と故人を悼みました。続いて日本私立大学協会の小出秀文常務理事・事務局長や同協会副会長で学校法人鶴学園の鶴衛理事長・総長、広島県私立中学高等学校協会会長で学校法人広陵学園の田中清峰理事長からも弔辞をいただきました。親族代表として挨拶に立った西本義和理事は大勢の参列者に感謝を述べました。その後献花が行われ、参列者が遺影に花を手向けました。

西本氏は昭和39年、広島電機学園の学園長に就任しました。同年の広島電機学園短期大学（現・広島国際学院大学自動車短期大学部）、42年の広島電機大学（現・広島国際学院大学）新設に尽力しました。同50年から平成15年まで理事長を務めました。また、昭和61年から平成2年まで広島県私立中学高等学校協会会長、平成8年から15年まで日本私立大学協会常務理事などを歴任。平成元年には勲三等旭日中綬章を受章しました。



紀 隆雄先生（第6代学長）ご逝去

本大学の第6代学長として重責を担われた紀隆雄先生が、去る8月28日に享年90歳を以て永眠されました。紀先生は昭和28年に広島文理科大学物理学科を卒業され、広島大学を定年退官後の平成4年、広島電機大学（現：広島国際学院大学）に教授としてお迎えいたしました。

平成9年4月、同大学・広島自動車工業短期大学（現：広島国際学院大学自動車短期大学部）学長に就任。大学院設立や新学部設置等、大学の大きな変革期を先導されました。

平成13年3月の退任後も、引き続き顧問および本学院評議員として運営にお力添えいただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



第52回高城祭「破天荒」を開催

10月13日、広島国際学院大学中野キャンパスにて、第52回高城祭テーマ「破天荒」を開催しました。当初は12～13日の開催予定でしたが、折悪しく台風19号が接近し、12日の当夜祭は強風のため中止となりました。皆様にはたいへんご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

13日の終夜祭は無事に開催され、大学ダンス部等の歌とダンスで華やかにスタートしました。吹奏楽部の演奏やクイズ大会なども行いました。学生たちの屋台は店ごとに工夫を凝らし、品定めする来場者で賑わいました。バザーや文化展にも多数が訪れました。気象予報士の勝丸恭子さんによる講演会も行われ、多くの方が聞き入っていました。ゲストの「四星球（スーシンチュウ）」さんのライブに会場は熱気で包まれました。フィナーレは迫力満点の花火で締めくくりました。

地域の皆様や本大学の学生、教職員の皆様、関係団体の皆様、何よりご来場者の皆様にお礼申し上げます。

この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。

高校生以上の方に図書館を開放しています。詳細は図書館までお問い合わせください。

発行／学校法人広島国際学院 法人本部

住所：〒739-0321 広島市安芸区中野六丁目20-1 電話：(082)820-2345